

令和 7 年度 第 2 回大口町保育所運営委員会 会議録

開催日時	令和 8 年 2 月 9 日（月）午後 1 時 3 0 分より
開催場所	健康文化センター 1 階 多目的室
出席者名	議会議員代表 3 名 民生委員・児童委員代表 3 名 私立保育園法人代表 1 名 保護者代表 7 名 事務局 9 名
次 第	1 委員長あいさつ 2 議題 (1) 令和 7 年度保育所運営の報告について 南保→西保→北保→大口中保 (資料 1－1、1－2、1－3、1－4) (2) 令和 8 年度保育所運営について (ア) 令和 8 年度保育園園児数について (資料 2) (イ) 年間事業計画について「ことしのあゆみ」 (資料 3) 3 その他

(進行：委員長)

委員長	1 挨拶
保育長	2 議題 (1) 令和 7 年度保育所運営の報告について (保育園全体としての報告) 令和 5 年度 1 0 月より導入したアプリ配信で、全園児引き渡し訓練を 2 回行った。南海トラフ地震がいつ起こるかわからないと言われており、職員は、引き渡し訓練で、園児の安全を第一に考えてシミュレーションを行っている。保護者の方たちの意識も年々高まってきていることを感じている。また、ご意見等があればお聞かせいただきたい。 第 1 回保育所運営委員会でのご意見で、最近の夏は厳しい暑さのため、プール遊びの時期を早めてはどうかとのご提案をいただいた。検討したところ、今年度の時期より早めると、肌寒い日も想定されることから、プール遊びではなく、水遊びの時期を早めていきたいと考えている。気温等を考慮しながら開始

南保育園園長	時期を検討し、水遊びが楽しめるよう計画していく。併せて、午睡の時期は、今年度は年少児が4月から9月13日まで、年中・年長児が6月30日から8月30日まで行った。暑くなると疲れもでてくるので、体を休める必要がある。開始時期は今年度同様にし、年少児は9月いっぱい行うことにする。眠れないお子様については、無理に寝かすことなく静かに休息する時間としているので、ご理解いただきたい。 運動会で混雑の緩和はできないかとのご意見もいただいた。各保育園で、保護者が観覧しやすいよう工夫した。あいにく天候が悪くご心配をおかけしたが、なんとか無事に終えることができた。ご協力に感謝している。 南保育園の取り組み報告（資料No.1－1） 今年度は、第一に「郷土を愛する心を育む」を南保育園の目標に掲げて保育活動を行い、住んでいる町について知り、地域の人と触れ合うことで、豊かな心と地域への愛着心が育まれるよう過ごしてきた。 郷土愛活動・地域交流については、大口町歴史民俗資料館の学芸員さんを招いて、南部地域にまつわる話を聞いたり、実際に現地へ出向いたりしながら、郷土を愛する活動を継続してきた。子どもたちは、豊田、大屋敷、秋田地区の老人クラブや地域の方と一緒に、史跡めぐりや散策に出掛けるなどして、自分の住んでいる町のことを知り、大口町の良さを感じる経験ができたと思う。地域の方には、子どもたちとのふれあいの他、道中の見守りをサポートしていただき、安全面でのご協力もしていただいた。また、保育園に地域の方をお招きして、園児と一緒に正月遊びや誕生児を祝っていただくなど、交流する機会も設けた。地域の方が園の取り組みに対して理解し、参加していただけたことは、地域とのつながりを深められることができたと感じている。今後も、地域と共に子どもたちを育てていくという思いを大切に、地域との関わりをより深めていきたいと思う。 園周辺には田畑があり、四季折々の草花が咲き、虫や鳥などの生き物の姿を間近に見ることができる自然環境を活かして、一年を通して季節を感じながら農道や園周辺での散策を続けてきた。この恵まれた環境の中で過ごすことで、じっくりと観察したり、気になったことを絵本や図鑑で調べたりする姿が多く見られ、子どもたちには好奇心や探究心が芽生えてきた。そんな中での子どものつぶやき、見たことふれたことを絵や写真にあらわした「郷土愛かるた」を作成した。「郷土愛かるた」で遊び、情景や経験したことを振り返ることで、大口町の良さが感じられるようにしている。 食育活動では、南食育サポートの方にご指導をいただき、園の畑で野菜の栽培を続けてきた。子どもたちは水やりなどの世話や収穫を体験し、収穫したて
--------	---

	の新鮮な野菜を給食でいただいている。子どもたちの姿やつぶやきから“食べる喜び”や“感謝の気持ち”が育ってきたと感じられる。先日、南食育サポートの方をお招きして給食交流会を行い、畑で採れた白菜や大根などの冬野菜を使ったメニューを子どもたちと一緒に食べていただいた。子どもと南食育サポートの方々からは「おいしいね」の言葉がたくさん聞かれ、笑顔溢れるほっこりとした交流会となった。 体力作りでは、園庭には雲梯、鉄棒、ブランコ、滑り台、登り棒、ジャングルジムなどの固定遊具、鬼ごっこやリレーなどができる広いスペースがあり、いつでものびのびと思いきり体を動かして遊ぶことができる恵まれた環境となっている。また、室内でも遊び方を工夫して、発達に応じて体を動かす遊びが経験できるようにしている。年齢の低い子どもたちは、天気のいい日は毎日のように園周辺の農道を散歩している。歩くことがよい運動となり、体力づくりにもつながっている。子どもたちが繰り返し行う姿から、体を動かす楽しさや挑戦する気持ちが育っていると感じている。 今後も地域の文化や特色にふれる活動を通して、自分の生まれ育つ地域の良さを知り、地域に根づいた保育園となるように、地域や家庭とのつながりを深めていきたいと思う。
南保育園 父母の会会長	(南保育園 父母の会活動報告) ・ 5月 オイスカ 森の積み木広場 エコキャップ・アルミ缶の回収 ・ 8月 夏祭り お店出店と園児にプレゼント ・ 12月 クリスマス会 園児にプレゼント ・ 卒園・進級のプレゼントを準備している ・ お楽しみ会 ①名古屋経済大学 ボランティアサークル「こんぺいとう」人形劇(8月) ②名古屋おもてなし武将隊(9月) ③クロネコヤマト 交通安全教室(11月) ・ 写真撮影 12回 写真販売 4回 一年間、いろいろな計画をしてきた。家庭では、子どもたちからの「楽しかった」という声や、保育士からは、保育園での子どもたちの楽しそうな様子を聞くことができた。一年を通して活動する中で、子どもたちの笑顔に沢山ふれることができて良かった。
西保育園園長	西保育園の取り組み報告(資料No.1-2) 食育では、畑「西保ファーム」で西食育サポートの方々と一緒に季節の野菜を栽培、収穫の体験をしている。畑では季節折々の野菜が栽培され、一年を

通して20種類ほどの野菜や果物が収穫でき、旬の時期の新鮮な野菜や果物を給食で美味しくいただいている。西食育サポートの方々が畑の整備や子どもたちが収穫しやすいように手入れ、準備をしてくださり、日頃から畑で皆さんとお会いすると、優しく声をかけてくださっている。地域の方々に支えられていることに日々感謝している。7月と1月に計画した給食交流では、畑で収穫した野菜を使った給食を子どもたちと一緒に食べていただいたり、遊んだりして楽しい時間を過ごした。また、日常となっている「残食0（ゼロ）」の取り組みでは、食の大切さ、食べることの楽しさ、様々な方々に感謝の気持ちをもつことなど、子どもたちに伝えながら、残さずおいしく食べることを意識している。その中で、「給食Gs（ジーズ）」の園内放送を毎日子どもたちが行い、給食のメニューや入っている野菜を紹介したり、残食量を伝えたりしている。この放送をみんなが楽しみにし、子どもたちが語り手として今日の出来事や行事の感想など、子どもたちが話す内容を考えて放送している。今年度、1月末までに残食ゼロの日が53回だった。前年度に比べると倍以上の回数となっている。「食に対する感謝の気持ちを育み、給食の残食を減らす」といった活動が、SDGsを意識したものとして継続されている。

異年齢児交流では、様々な年齢の子どもたちとの交流を日常の生活の場面や遊び、行事の中で行ってきた。初めは関わり方に戸惑いがあったり、様子をうかがっている子もいたが、まず保育士が実際に関わる姿を示したり、一緒に関わることで、少しずつ自分から近くに行き、関わろうとする気持ちが育ってきた。自然と未満児が園庭に出てくるとき靴を履くことを手伝う姿もあり、小さい子をあやしたり、遊びの中でお世話したりと、思いやりや親しみをもって関わる姿がある。また、年上の子を慕う気持ちや「あんな風になりたい」など憧れる気持ちも芽生えており、こういった経験、育ちを大切にしている。

体力づくりでは、生活や遊びの様々な場面で子どもたちの体力増進につながる取り組みをしている。芝生園庭や園庭にある大小2つの山を駆け上ったり、降りたりすること、散歩に出かけ歩道橋の階段を上り下りすることで、全身運動となり、体幹を鍛えることにつながっている。未満児もマットや鉄棒、巧技台などを使い、いろんな体の使い方や筋力アップにつなげ、楽しみながら経験できるよう計画し、遊びに取り入れている。今年度、WRF様、東海理化様から寄贈していただいたランバイクは、2歳児～年長児の子どもたちが、ジグザグと走行したり、友達と競争したりして楽しみながら遊び、全身運動となっている。

どの活動も子どもたちの中で、遊びや日常の取り組みとして、浸透し根付いている。今後も子どもたちがさまざまな経験を重ね、健やかに成長していくために、地域や保護者の皆様のお力をお借りしながら、地域、保育園、家庭が手

西保育園 父母の会会長	を取りあいながら、ともに子育てをしていきたい。 (西保育園 父母の会活動報告) ・ 父母の会有志による「いのちの大切さ」を伝える取り組み ・ 9月 「風船太郎」バルーンショー ・ 8月 西保育園夏祭りの父母の会ブース「さかな釣り」 ・ 10月 シャボン玉&マジックショー ・ 11月 森のつみき広場 オイスカさんに贈呈するエコキャップ、アルミ缶の回収 ・ 各イベントのプレゼント選び・ラッピング ・ 役員による写真撮影 16回・フォトレコにて販売 5回 ・ 今年度新たな取り組みとして、フォトレコ関連の保護者との問い合わせ窓口を設置した。
北保育園園長	北保育園の取り組み報告（資料No.1－3） 木育活動では、木にふれ、木で遊び、木で作る取り組みを通して、子どもたちの心と体の成長を育んできた。木造園舎で木のぬくもりを感じながら過ごし、また、園庭には大きな桜の木があり、四季折々の姿を見せてくれ、季節を感じながら過ごしている。今年度は雪が降ることが多く、雪景色となった園庭はなかなか風情があるものだった。雪遊びを何度か経験し、回廊にはかわいい雪だるまがたくさん並んだ。年中児の親子マイ箸作りは、ちょうど今 焼きペンで名前入りの作業をしている。その後、終了記念として家庭に持ち帰り、年長進級と共に給食で使うことを待つばかりとなった。「地域の方ともくもくの日」は、年間を通じて定着してきた。1月のもくもくの日、正月遊びをした。こま回し、すごろく、かるたなど真剣勝負をし、大いに盛りあがっていた。地域の方々も、“今日の遊びは何か”と楽しみにきてくださり、帰るときには「楽しかった」、「また来るね」とうれしいお声をかけてもらっている。木育はSDGsの活動に繋がっている。日々の保育の中で「園舎を大切に使う」という気持ちをもって過ごしている。園舎の建築から8年が経ち、木造ならではの傷みが出てきて、机や椅子、ドアを紙やすりできれいに磨き、再生していく活動を行っている。また、毎年の取り組みの一つである「地球にやさしい北保育園」の話から、冬の時期に回廊下の通気口に板を年長児と一緒にはめ込んだ。 食育活動では、「きたきた食育サポート」の方と一緒に、野菜を育て、収穫し、給食に取り入れておいしくいただいている。夏野菜、冬野菜など様々な種類の野菜作りを体験した。中でも、今年度はイモ類が豊作で、ジャガイモ・さつま芋・里芋掘りの体験は特に楽しめた。給食交流会で、食育サポートの方を

北保育園 父母の会会長	招待して、一緒に給食を食べた。食育サポートさんに、畑の野菜が入った給食を食べていただくことで、保育園の給食を知っていただいた。このような取り組みが、日々の保育の中にもつながり、生活発表会では、野菜が題材となる劇遊びを発表したクラスもあった。 地域交流では、地域の方に見守られながら、子どもたちが元気にすくすくと育っている。2月25日には感謝の集いを計画しており、子どもたちから、日頃お世話になっている地域の方にお礼の気持ちを伝えようと思っている。今まで積み重ねてきた地域の方とのご縁を今後も大切にしていきたいと思う。 最後に、父母の会の皆様には1年を通して子どもたちのために、イベントの開催やプレゼントの準備など、お忙しい中ご尽力いただき感謝している。 (北保育園 父母の会活動報告) ・園行事 7月 オイスカ森の積み木広場 ペットボトルキャップの収集、贈呈 アルミ缶の収集（父母の会、職員）、贈呈 8月 夏祭り 出店（ゲーム、ヨーヨーつり、千本引き） 父母の会イベント ・ピエロのトントさん ・保育園のイチゴ畑の管理 1年を通してイチゴ畑の管理（苗植え、草取り、水やり、ネットはり） ・写真販売 フォトレコ 撮影11回 販売5回・お楽しみ会
大口中保育園 園長	大口中保育園の取り組み報告（資料No.1－4） 「遊びの中からの学び」を保育の柱として、「一人ひとりが好きな遊びを選んで集中できる保育環境」を作ることが大切に保育に取り組んでいる。その中で、大口中保育園の特色として、主に体力作り、運動遊びに力を入れてきた。毎朝行っているサーキット遊びや体育専門の講師による運動遊びを取り入れ、健康な身体作りと体を動かす楽しさを味わえるよう取り組んできた。特に鉄棒・雲梯では、手にはまめをいっぱい作りながら自分なりの目標を持ち挑戦している園児も多い。年長児の温水プールでの水泳教室では、園のプールとは異なる環境で水に触れることで、新しい体験への意欲や挑戦する気持ちが育まれた。新しい取り組みとして、東海理化さんに寄付して頂いたランバイクに乗っている。ランバイクに乗って遊ぶ中で、バランスを取ろうとする姿が見られ、体の使い方が少しずつ上手になってきた。自分で前に進む楽しさを感じながら、足腰の力やバランス感覚が育ってきている。 自然遊びに取り組んだ。五条川には、こい・かも・シラサギなどの生き物が

大口中保育園 父母の会会長	見られ、土手には様々な草花も咲き、四季折々の季節の変化を感じさせてくれている。自然と動植物に詳しい方と一緒に、年少児が秋の園庭を探検した。園庭には、イチョウ・かえで・けやきの木などがあり、様々な落ち葉の違いに気づいたり遊びに使ったりして楽しんだ。イチョウは「生きた化石」として知られており、恐竜時代からほとんど変化していない。イチョウの葉は恐竜の足の形に由来するという話を聞き、恐竜大好きな子ども達は、大興奮していた。また、さつま芋のつるでリースを作るなど自然物ならではの味のある作品が出来上がった。 食育活動では、「育てる」「収穫する」「調理する」「食べる」などの体験を通して食に興味・関心を持ち、感謝の気持ちを持てる取り組みが出来た。保育園でのクッキングは、食べる事や作る事の楽しさを感じられる活動である。年長児は、パン作りに挑戦し、材料や工程を知り、「食べ物はどうやってできるのか」を体験的に学ぶことが出来た。他にも、材料を「自分たちで」と、ドン・キホーテさんまで買い物に出掛けた。年少児は小松菜のふりかけ作りに挑戦した。苦手になりやすい野菜も作る工程に参加することで興味を持ち、進んで味わう姿が見られた。田植えでは、今年度も民生委員さんのご厚意により、田植え・稲刈りの体験をさせて頂き、稲の生長、お米の実りを身近に見ることが出来た。 異年齢での活動では、年長児がお手本を見せたり、持ち方を教えたりしながらけん玉の楽しさを伝えている。恒例の「ハロウィンパーティー」では、年長児がアイデアを出し、準備や当日の進行も行いつつ、みんなを楽しませてくれた。日々、一緒に生活する中、様々な場面で年長児の活躍や頑張っている様子を見てきて、お兄さん・お姉さんのようになりたいという憧れの心が園全体に広がっている。 未満児では、年1回保育参観日を設けている。生活や遊びの中で育まれてきた「できるようになったこと」を感じていただくことができた。初めての子育てに不安を感じている保護者の方にとって、園での様子を知り、また、保護者同士が交流できる場になればと考えている。 (大口中保育園 父母の会活動報告) ・ 7月 七夕夏まつりにて、ゲームコーナーブースと、園児の誘導の手伝い ・ 1月 父母の会「お楽しみ会」ハロードックくん ・ 3月 お別れ会のプレゼントと修了記念としての品物準備 ・ 運動会、クリスマス会のプレゼント ・ さつま芋掘り、ハロウィンパーティーの手伝い ・ 写真販売は、「はいチーズ！」に委託
--------------------------	--

保育長	(2) 令和8年度保育所運営について (ア) 令和8年度保育園園児数について (資料2) 令和8年2月1日現在の見込み園児数を掲載している。2次募集・3次募集があるため、人数は若干の変更がある。 (イ) 年間事業計画について「ことしのあゆみ」(資料3) 左側は主な年間行事で、保護者のみなさんにご参加いただくものには、○印をつけてあるので、参考にしていきたい。 ・4月6日は午前中に入園式、午後在園児を対象に進級式を行う。 ・5月と1月に全園児引き渡し訓練を計画している。今年度同様、「災害が発生したため、お迎えをお願いします」という旨をアプリで配信する。受信後、速やかにお迎えのご協力をお願いしたい。 ・公立保育園は、5月下旬に年中・年長児の保育参観、6月に音楽発表会と、保護者が参加する行事が続いていたことから、6月に3歳以上児の保育参観を行い、年中・年長児は音楽遊び的な内容を参観に取り入れていくことにした。年少児は、6月の保育参観で給食試食会を行い、音楽遊び的なことは、2月の保育参観で行う計画をしている。 ・9月は、防災の日に合わせ、防災訓練を行う。先日、職員研修で講師の先生を招いて防災の研修を受けた。より安全に避難できるよう努めていきたいと思う。 ・10月10日は運動会。今年度より第2土曜日に予定している。 ・12月は、生活発表会を予定している。ごっこ遊びから発表へと繋げていく。 ・2月下旬から3月上旬には、感謝の集いを行う。日頃からお力添えをいただいている地域の方に、子どもたち、職員みんなで、感謝の気持ちを伝えたいと思っている。 ・3月26日に卒園式を行う。 ・保育園ごとで年間を通して、様々な取り組みを行っていく予定である。 令和8年4月より、乳児等通園支援事業(通称:こども誰でも通園制度)が全市町村において実施される。 これは、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、就労要件を問わず、柔軟に利用できる新たな通園制度で、満3歳までの子どもが利用できる。 大口町においては、北保育園で実施する予定で、現在準備を進めている。
-----	---

議会議員代表	父母の会の活動報告の中で「子どもと一緒に自分たちも楽しむ」という説明があった。大変だと思うが、子どもと一緒に楽しめるということは、一番良いと感じた。
議会議員代表	ランバイクを使用する際の決まりごと等あるのか？
西保育園園長	自由遊びの時間帯で、交替しながら使用している。
議会議員代表	西保育園の「残食ゼロ」について、食べきれない子どもに対して強要すること等はないのか心配される。
西保育園園長	残食量は、欠席した子どもの人数は省いて計算している。全ての量を無理に食べさせて「残食ゼロ」にしているわけではない。
議会議員代表	父母の会の活動を活発に進めているが、何か問題になっていることや苦勞していることはあるか？
南保育園 父母の会会長	写真販売について、データと写真での販売をしているが、近年の物価高の影響と南保育園の園児数の少なさにより、収入が減っている。写真販売の売上の中から手数料が引かれるため、データのみで販売したいが、各園ごとの対応で良いのか。町立保育園３園で協議したい。
保育長	フォトレコに関しては、父母の会が担っているため、町立保育園３園で協議していただく。
西保育園 父母の会会長	保護者から保育園に父母の会への質問や要望等あるが、保育園に負担をかけないようにという思いがある。保育園と父母の会の連絡ツールがあるとありがたい。
大口中保育園 父母の会会長	キッズプラスアプリの欠席連絡は、当日のみの受け付けである。前もって連絡できると良い。また、大口中保育園のカーブミラーが劣化しているため、新しいものにしてほしい。
議会議員代表	即答できる内容ではないため、今回は質問として聞かせていただき、事務局と相談しながら対応させていただく。

大口中保育園 父母の会会長	乳児等通園支援事業（通称：こども誰でも通園制度）は、親のリフレッシュのために使用しても良いのか？
保育長	未就園の３歳までの子どもが対象で、登録してもらえれば使用できる。 就園している場合、保護者が病院等に出掛ける際に保育が必要であれば、子どもを預けてもらえば良い。何かあった場合に必ず連絡がつくよう、連絡先等を知らせてほしい。
事務局	親のリフレッシュのためではなく、子どもが様々な年齢の子どもとふれあう機会として月に１０時間利用できる国が設けた制度である。
議会議員代表	インフルエンザが流行しているが、保育園の状況を教えてほしい。
保育長	１２月頃から感染する子どもが出始め、自由登園になったクラスもある。現在、第二波がきている。保育室の換気等、感染予防の対策をとり、保護者への周知をしている。
西保育園 父母の会会長	３ その他 西保育園父母の会役員が、年長、年中児対象に「命の大切さ」について知らせてきたが、来年度は枠組みを変えて活動していく。学童で講演を行う予定もあり、保育園からの要望があれば応えていきたい。保育園や保育士の負担軽減を考え、保護者が窓口となって進めていきたいと考えている。
議会議員代表	大切な内容で、保護者が取り組んでいただけるということは非常に良いことである。
保育長	保育園での活動については、今後、相談させていただく。
保育長	保育所運営や、各保育園の取り組みなどを報告させていただいた。働く保護者が増え、早朝・延長保育の利用者が年々増えている。園児を安全に、また、楽しくお預かりするために、保育体制を考えていく必要を感じている。今後もしもご意見やご助言をいただきたい。
こども課長	閉会の挨拶